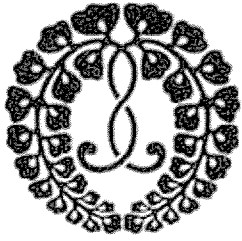


寶蓮寺 だより



ぶっほうそう

第 57 号

皆作・無縁供養 法会

2023年7月1日 発行



《写真 … 本願寺書院の枯山水「虎溪（こけい）の庭」》

（あいさつ）

住職 緒方義英

長雨の候、みな様におかれましては、ご法義相続のこと、お慶び申し上げます。

さて、本山本願寺では、去る三月二十九日から五月二十一日まで、五期三十日間にあたり、親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年の慶讃法要が厳修されました。法要中は国内外より多くの方々が参拝なされ、厳肅かつ盛大に法要が勤まりました。当寶蓮寺からも、住職とご門徒様三名が上山し、この五十年に一度のご勝縁を頂きました。

コロナ禍の影響でお聴聞する機会が随分と減りましたが、数少ない御法縁を大切にしていたさき、ともに本願念仏のご法義を聴聞させていただきました。



合掌

一口法話 「生死流転」

仏教に「生死」（しょうじ）という言葉があります。「生まれる」という漢字と「死ぬ」という漢字を合わせて「生死」（しょうじ）と発音します。同じ言葉でも、生死（せいし）と読めば、「生死を彷徨う」、「生死にかわる大病」など、「生きる死ぬ」の意味で使われます。

しかし、仏教では、これを「生死」（しょうじ）と読んで、私が生まれてから死ぬまでの一生、さらには、その生死が永遠に繰り返されるといふ「輪廻」や「流転」を表す言葉として用いられるのです。

生まれてきた命は必ず死ぬ、死んだ命は他の命に生まれかわり、そしてまた死ぬ。生まれては死に、死んでは生まれる。生死、生死、生死、と輪のように途切れなく、それが永遠に繰り返される。その永遠の中の「今」を、「私」として生きている現実があるのです。

刹那刹那に生死が繰り返される、その中で、これまでに数えきれない罪を犯し苦し

んできた。それが、仏様の眼に映っている「私の姿」だということです。

私は、そのことを知りません。本当の自分の姿を知らずに生きています。罪を犯しても、それに気付くことさえなく、平気で生きています。

阿弥陀さまの前に立ち、阿弥陀さまの鏡に映る自分の姿を見て、はじめて、自分の本当の姿に気づく。阿弥陀さまの呼び声中で、阿弥陀さまの願いを聞かせていただき、はじめて、救われ難き、自分の罪を知るので。

教えの中に「自身は現にこれ罪悪生死の凡夫、曠劫よりこのかたつねに没しつねに流転して、出離の縁あることなし」とあります。私は、今現に、罪を犯しながら生死している身であります。いつから罪をつくし始めたかも知らず、ただその罪を繰り返しているばかりです。

そのような私だからこそ、「親」として寄り添い、はたらきかけてくださる仏さまがいる、それが「南無阿弥陀仏」、阿弥陀さまなのです。

*令和五年三月「築城組テレホン法話」より

仏教のいろは

く 天国ではなく浄土に生まれる く

最近では、亡くなった方の行き先を「天国」と言われる方が非常に多くなりました。

仏式で執り行われる葬儀でも、弔辞や弔電の中で「天国から見守ってください」と、当たり前のように用いられているのです。

しかし、仏教の中で説かれる「天国」は、みなさんの考えるような桃源郷ではありません。いまだ苦しみの残る迷いの世界で、とても私たちを見守るような境界にはないのです。

そもそも念仏者は、天国に行くことを願ってはいません。さとりの世界である「浄土」に生まれ、如来として活動することを素懐（願い）としていなのです。

阿弥陀さまの「お浄土」は、私たちが永眠するための場所でもなければ、自分の欲望を満たすための場所でもありません。「すべての人を救いたい」といふ阿弥陀さまの願いを成就させるべく、智慧と慈悲で満たされた世界なのです。



敬 弔

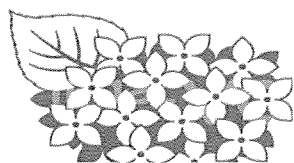


謹んで哀悼の誠を表します

三月 十六日	東徳永	木村 幸子 様	享年一〇〇
三月 十九日	上別府	進 ツ夕工 様	享年九十六
三月 二十日	上別府	本城 ヤスヨ 様	享年八十六
三月 三十日	道場寺	本城 孝憲 様	享年八十六
四月 七日	上別府	本城 勇 様	享年八十九

永代経懇志 御礼

一金 貳拾万円	道場寺	大村 昌加 様
一金 拾万円	上別府	長久 静生 様
一金 伍万円	上別府	城戸 孝良 様



永代経懇志は、ご法義繁盛、寺内護持発展のために大切に使用させていただきます。

当山寶蓮寺の第十四世住職（顯勝院釋覺恵）の五十回忌並びに第十五世坊守（慈明院釋志貴）の十七回忌の法会を、七月五日十六時より、当山本堂で厳修します。ご都合のよろしいお方は、ご来山の上お焼香くださいませ。

寶蓮寺

ご案内

秋季彼岸会
永代経法要

日時 十月七日（土）昼席より
九日（月）昼席まで



※今回は昼席（十三時三十分）のみの厳修とします

御講師 北豊教区布教団員 引受 別府門徒

寶蓮寺門徒講 永年表彰

永年にわたり、寶蓮寺門徒講の支部長を務めていただいたおります宮尾成徳様（安武）のご功勞を称え、深く感謝の意を表し、記念品を贈呈いたします。

※表彰式は、本年の門徒講総会で行う予定です。

◇ご法事の事前確認について（お願い）

みな様には、たいへんご面倒をおかけしますが、ご法事の日が近づきましたら、念のために、確認のお電話をいただきますよう、お願い致します。

令和五年 初盆会

小倉	門司	椎田	本庄	行橋	豊津	吉岡	北泉	北泉	東徳永	築城	道場寺	道場寺	道場寺	合木	上別府	上別府	上別府	上別府	上別府	上別府	上別府	上別府
加留部	井上	奥村	遠藤	越原	白石	中山	秋満	秋満	木村	時本	本城	竹原	原野	佃	本城	本城	中嶋	安廣	進	則松	則松	
達也	嘉久	保則	マ子	マ子	哲雄	紀子	立子	茂	幸子	幸子	孝憲	純子	工三子	千鶴子	ヤ又三	勇	信之	美栄子	ツ夕工	直博	直博	
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

お盆参り ご案内

八月十日(木)午前	八月十日(木)午後	八月十一日(金)午前	八月十一日(金)午前	八月十一日(金)午後	八月十二日(土)午前	八月十二日(土)午前	八月十二日(土)午後	八月十三日(日)終日	八月十四日(月)午前	八月十四日(月)午後	八月十五日(火)午前	八月十五日(火)午後
道場寺門徒	道場寺門徒	綾野門徒	道場寺門徒	道場寺門徒	合木門徒	築城門徒	安武門徒	初盆参り	初盆参り	下別府	上別府	上別府
八時より	十三時より	八時より	十時より	十三時より	八時より	十時より	十三時より		十三時より	十三時より	八時より	十三時より

※ お参りの時間は前後することがあります。
 ※ 都合の悪い方は、支部役員さんへ連絡してください。
 ※ 右記以外のご門徒様でお盆参りを希望される方は、七月十七日(月)までにお寺へ連絡してください。

発行 照曜山 寶蓮寺

〒829-0105 築上郡築上町上別府 1072-1

電話 090-1192-5324 (住職)

090-8395-0845 (坊守)

